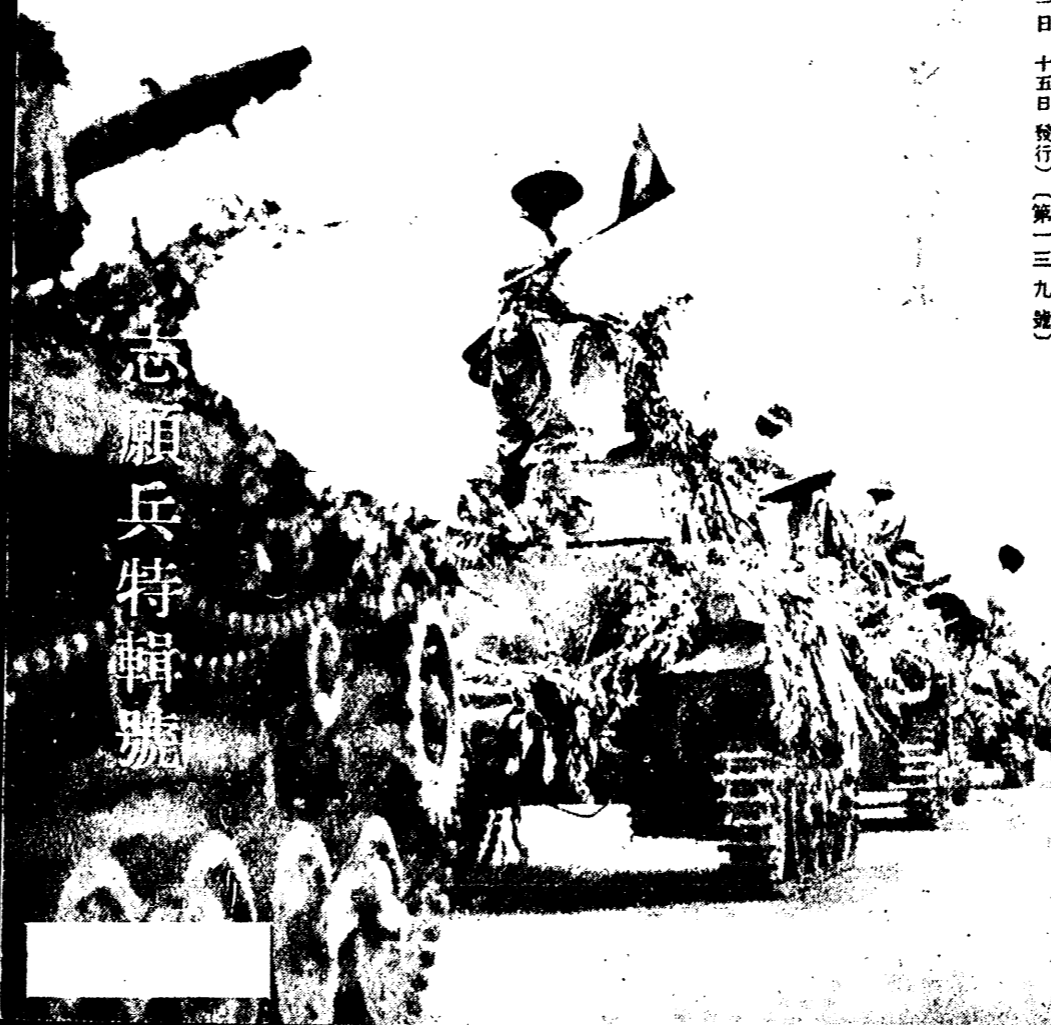


府督總灣台  
輯編部報情

昭和十七年九月二十日第三種郵便物認可  
（每月二回一日十五日發行）（第一三九號）



志願兵特輯號



目要業營

- 一、日本銀行引受國債賣捌取扱
- 一、公社債の引受募集並ニ賣買
- 一、株式の引受募集並ニ賣買
- 一、公社債元利金支拂株式配當金取扱代理事務
- 一、金 融 業 務

本店 大阪市東區安土町二丁目

# 野村證券株式會社

臺北支店 臺北市表町二丁目

電話四〇〇一四一五九、四五二〇、七三三七

振替貯金口座番號九一〇一

其他支店 東京・名古屋・京都・神戸・岡山

廣島・高松・門司・福岡・金澤

新潟・靜岡・札幌・京城

滿州野村證券株式會社

本店 奉天・支店 新京・大連

陸軍特別志願兵  
募集要綱發表の日に

松尾部隊長

大君は大御軍に召し給ふすめらみくにの國民  
なれば

大君の軍に召さすかしこさに應へざらめや臺  
灣島民

銃とりて皇國につくすよきしほと大東亞戦か  
ちすすむなり

目次 (二月一日號)

- 志願兵特輯號
- 志願兵の手引……………兵事防空課
- 志願兵募集要綱……………
- 志願兵を迎へる軍隊訪問記
- 文・濱田隼雄……………
- 繪・宮田彌太郎……………
- 食糧に不安なし……………
- 高岳親王の御壯途 瓜生菫之盛……………
- 島人に寄す……………菊池 劍……………
- 志願兵……………西川 滿……………
- 島民……………
- 講座 社……………中美春治……………
- 大東亞戦争の推移……………
- 情報部 送……………

# 志願兵へ迎撃

決戦下の本島に輝かしい實を結んだ志願兵制度施行は、大東亞戦争の進展とともにいやが上にも全島民の血をわきたせ、あふるゝばかりの感涙は志願兵志願となつてあらはれ、既に一月十三日には二萬名を遙かに突破したが、これら熱血男子の晴れの入響を持つ軍隊とはどう云ふところか。ここでは全ての私心を去り、ただ一死無難、必勝の信念の下に、和やかな中にもきびしい訓練が行はれてゐるのである。この一文を全島雄萬の青年に贈る。超て、志願兵へ。進め、響れの志願兵。

## 營門で

九時集合の約束なので十分前に行き、門の前の霜寒の木の下のつくねんと立つて、營門の出入を眺めてゐた。

哨舎の前に厳然と立つ歩哨は若々しい一等兵である。將校の出勤時刻で、遙かにその姿が見えると、若く凛々しい歩哨はカチツと靴の踵を合せ、不動の姿勢に寸分の隙もなく、十米位に近づいた時にはシャツと銃を捧げる。

その前で將校がきちつと舉手の敬禮をかへし、門に一步入るや否や、控所の衛兵達は、  
「敬禮つー」  
と口を揃えて、立ち上る。大きな聲だ。  
私もかつて兵隊であり、衛兵に服務してゐたことがあるが、その時、若い女が面會を願ふために衛兵所に來てゐたのが、敬禮つーと聲がかゝつて、びつくりして飛び上つたのを思ひ出した。

そして彼女は衛兵達がすつくと立ち上り、門に入る上官に敬禮するのを見て、やつと事態がわかつたらしく、顔赤らめて、自分も一緒に最敬禮をしたものであ

營門の規律は厳として、地方人は確かにびつくりする。そして、軍隊と地方とのまるつきり違つた世界であることを知るのだ。

營門は軍隊の門である。兵營は單なる兵隊の家ではない。兵隊の學校ではない。兵隊の學校ではない。兵隊の學校ではない。

# 訪問記 浜田隼雄 宮田彌太郎

營門の規律は厳として、地方人は確かにびつくりする。そして、軍隊と地方とのまるつきり違つた世界であることを知るのだ。

營門は從つて濫りに人の出入を許すべからざる、兵營の尊嚴を誇る名譽の門である。

私は又、私が歩哨に立つてゐた時、朝早く建功神社に朝詣りをしたらしい老婆が、私の立つてゐる營門の正面に立ちどまつて、肅然として最敬禮して行つたことを思ひ出した。



老婆は應召兵の母でもあつたらうか。

その時私はたゞ、地方人の老婆でさへ兵營の尊嚴を知つて、感謝しつゝ頭を垂れることに深く感じ入り、私が兵隊であり、この營門を守つてゐることの誇りに、思はず踵を合せて不動の姿勢で、その老婆の後姿を見送つたことであつた。

### 部隊長

〇〇部隊長はつい四五日前に着任したばかりの温顔で私達を迎へて下さつた。數年前までやはりこの部隊に居られた、歌人として有名な、それこそ文武兼

備の部隊長である。

私は、湖口の演習に行つてゐた時、この部隊長が私共の大隊長になられ、山裾の草原で、大隊長として最初の訓示をされたのを憶えてゐる。

大隊の兵隊がずらりと並んだ草原に、湖口の強い風が吹いて、冬草がなびく中を、颯爽と馬に跨つて大隊長は、我々の敬禮を受けてから、大聲で、兵隊のまごころを説かれた。

やさしい中にも威のこもつた、兵隊の胸を衝く訓辭だつた。いゝ大隊長殿だなあ、と我々兵隊どもは云ひ合つた。

その後北支の野戦部隊長

として、共産軍討伐と占領地の宣撫に武勳を立てられて、四五日前飛行機で單身着任されたといふ。

お久しぶりでと御挨拶をしてから私は、

「今日は志願兵となる青年たちに兵營を紹介するために見學に來ました。」と申し上げると、

「北支で、新民會の仕事を、やつてゐる青年たちもよくやつてゐますよ。これからはずべてが青年の仕事ですね。」

といろ／＼あちらの様子を語られ、本島青年を激勵されるのであつた。

部隊長が新しく着任されると、部隊の全將兵に、

はつきりと部隊長方針なるものが授けられ、それを中心にして教育は徹底的に行はれるのであるが、後で縫工場の壁に掲げられてあつた真新しい方針をみると、

一、誠心を以て人に接せよ  
一、全力を盡して事に當れ

私は微笑んでそれを讀んだ。兵隊のまごころ、何とそれは美しいことか。戦友へのまごころ、上官へのまごころ。隊長へのまごころ、そして、軍旗 大元帥陛下に對し奉つてのまごころ。それは精兵の精神であ

る。

兵隊は、縫工場で、戦友の壞れた靴底にうつ紙の一本一本にも、すり切れて大きな穴のあいた衣袴を男手で繕ふ一針一針にもまごころを籠めるのである。

そしてまごころがあれば、すべての事に全力は盡される。

敵陣突破のための全力も、要するにこのまごころの現れでなくて何であらう。

私はかゝる方針を授ける部隊長を持つ兵隊たちの幸福をしく／＼と思つた。

### 兵隊の工場

部隊長が案内のためにつ

けて下さつた伍長さんに案内されて、營庭に出て縫工場の方に行く。

とすぐ眼についたのは、工場の前の白い石柱である。

宮城遙拜之標とある。

二千六百年記念に愛國婦人會のXX分會が寄贈したものだ。

營庭に整列した部隊が、大元帥陛下に對し奉り、銃を捧げて、股肱たるの忠誠の心をこめる遙拜の目標である。

正しくこの方向に

大元帥陛下は在しますと思へば、營庭そのものさへ有難く感じられて襟を正さずには居られない。

工場は靴その他の皮革類、被服類の修繕工場が一棟、銃剣等の兵器修理をするのが一棟。

中に入ると、つぎはぎだらけの兵隊靴が山のごとく積み重ねてある。

トントンと針を打ち、堅い皮に針を通してゐるのは若い兵隊たちである。もちろん昔は靴屋さんであつたわけではない。やはりこの兵營で修業したてのばかり／＼である。

みてゐると仲々器用で靴屋もはだした。



いや靴屋以上だ。

これもまごころである。世間の人ならば屑屋にやつてしまひさうな古靴でも、汗を流して修繕してゐる。

世間では戦争が初つてから物資を尊重せよ、節約せ

よ、と云ひ出すのだが、軍隊は、御勅諭にも

一、軍人は質素を旨とすべし。

と仰せられてゐる通り、物凄く徹底した物資愛護を、黙々として實行してきてゐるのである。

靴ばかりでない、被服類も、世間では二年しか保たないものは十年以上保たせるのが軍隊なのだ。

靴なども、平生の手入れは十分にやつてゐる。手入れ不良は兵隊の恥になる。それほど注意して扱はれて長生した靴は、ちよつとでも痛むと、かうして各中隊から工場に集められ、兵隊の

手によつて、新品のやうな堅固なものに修繕されてしまふ。

被服もさうだ。ちよつとのほころびは、自分で縫ふ。

針や糸はみんな渡され、ちやんと針が使へるやうになつてゐるが、これで出来な

いものだけが、この工場に集つてくる。

十人ばかりの兵隊がせつせと針を運んでゐる。その横にはミシンが六七臺並んでゐる。このミシンも兵隊が上手に使ふのだと云ふ。その質素さと物資尊重の徹底してゐるのに感心してふと横に立つてゐる同行のIさんの靴をみると、大きな穴が二つあいてゐた。

「これく、手入れ不良だぞ。」と云つたら、傍の兵隊がアハハと笑つた。

隣りの兵器工場に行つたら、こゝは銀治屋みたいで

補の火が赤く燃えてゐた。陛下から賜つた菊花の御紋章入りの銃などが鄭重に修理されるのだ。

兵器は軍人の生命である。御紋章と兵器番號が刻ま

れてゐて、兵隊の守り神である。だからその手入れは兵隊の日課の中でも最も重要なものであり、一本の毛ほどの傷がついても兵隊の恥である。兵隊は嚴肅な儀式の中

で、自分を守つてくれる銃をいたゞく。そしてすぐ番號を覚える。

二二六五三四四、これは三年前に私がいたゞいた番號だ。私は今でも覚えてゐる。

陛下から自分がお預りしてゐるのだと思ふと、大事の上にも大事にしなければ、気が済まぬ。磨いて油をさ

して銃架に立て、をくのに、他人が手でも觸ると怒鳴りつけ度くなるほどだ。

一挺一挺の銃にも個性があるやうに思はれてくるし、實際にその個性はちやんとわかってくる。有難いばかりでなく可愛

砲銃隊に行つたら、壁に紙が貼つてあつた。

### 手入四訓

- 一、己の魂である銃つて磨け
- 二、確實に點檢せよ
- 三、克く慈しみ可愛がれ
- 四、一滴の油一片の木綿と雖も無駄にするな

隊長

と書いてあつた。だから兵器の損傷は滅多にないのだが、不可抗力によつての損傷は時々あり、この工場で修繕されるのである。

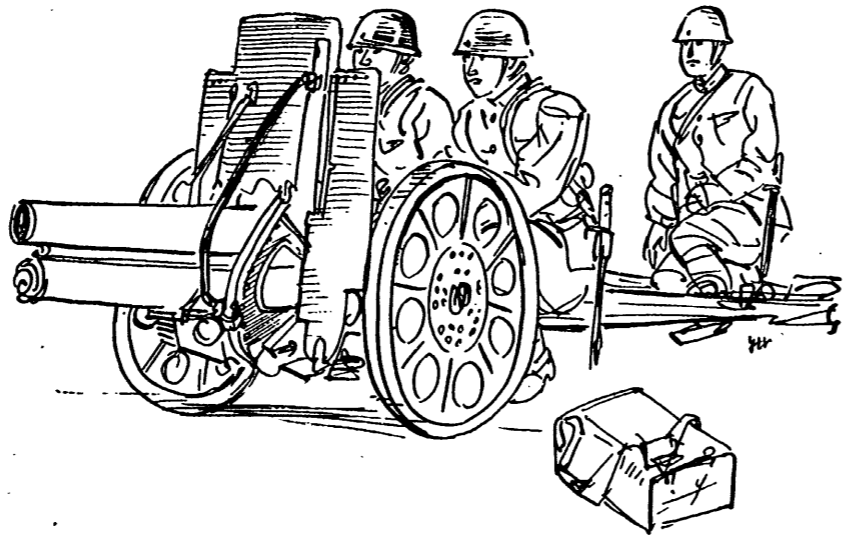
### 北營庭

北營庭に行つたら、こないだ入隊したばかりのXX兵の訓練をやつてゐる。

鐵棒の傍では、短劍術、砂場では幅跳び、グールの横では銃劍術、敵前上陸の練習をする假裝船體と大發、小發の傍では徒手體操、その向ふでは丸いボールでラグビーのやうな遊戯、と幾組にも分れて、勇ましいことである。

私は自分の入隊當初の事を思ひ出した。入隊してしばらくは馳足と徒手體操が主な仕事だつた。

朝の點呼が終ると、さつそく、これこそ本當の朝飯前の營内一廻りの馳足だ。



一廻りと云つても、途中でひつくりかへることがある。フーイー云ひながら毎日やつてゐるうちに脚力はめき／＼と強くなつて、一里位の馳足は平氣になるから恐ろしいものである。

體操は軍隊獨特のもので、手足や腰骨や肩の痛くなることは相當なものである。

が痛くなるのが必要なもので、その間に體力は物凄く強くなつてゐる。兵隊むきの身體が作られるのである。

入隊前は胃病持ちで胃散の常用者であつた。がこの體操のお蔭で、體力が強くなるにつれて、胃はけろ

りと治つてしまつた。

或朝私は便所に行つてびつくりした。生れてからこんなに太い糞が出たことが無いと、つくづく感動して涙がこぼれる程私の身體は健康體になつてゐたのである。

こんな有效な體操の間に、砂場で幅跳をやつて敵の壕を跳り越える練習をし、ボールはまん丸でも、ラグビーみたいな試合で、速い脚力と攻撃精神が養はれるのである。

それから銃劍術だ。

前 後！

後 後 前 前！

といふ班長の號令で木銃を構えた兩足が、跳ぶでも

なく地面をこするでもなく、すつすつと兩足揃つて

軽く早く前後に動くやうになると、今度は、

前 前 突けえ！

で、

やあつ！

と、かつては支那兵を、今は英米の奴ばらを震え上らしてゐる皇軍獨特の掛聲と共に、一緒に、劍尖がサツと突き出される。

全部一緒に練習が終ると、一人一人班長の前に出て、見て貰ふ。

前 前 後 後 前 前

突けえ！

「やあつ！」

と、うまく行きさうだが、一人一人になると、まだ初

めての悲しさ、悪いところがすぐ目につく。

「何だそりや、劍ばかり突き出して、上體は後にそつくりかへつてゐる。敵の身體に劍はとどいてもだめ、力が入つたらん。それに腹が大きく出てる。敵は、お前の劍をさつと拂つて、プスツと腹を一突き、それで二等兵は戦死だ。それでい、か。」

班長は笑ひながら辛辣で細かい。

「そろそろ一邊來い。」

又、やあつ！だが、

「それでは、劍尖が上向いてる。敵の身體をすべつて、こつちの下が空家ぢや、も一邊！」

又、やあつ！今度は甲の下らしい。

「大體よし、歸れ。」と班

長は今度は全部に向つて、

「いゝか、何邊も云ふが、

銃劍術は皇軍の突撃精神の花なんだ。一突きで敵を倒せる自信がつくまでやるんだ。必勝の信念、戰陣訓にも書いてあるが、必勝の信念は、この一突きにやつつける自信から出来るんだ。」と説き、更に、自分からはつきりと模範を示しながら、

「一番大事なことは、氣體劍の一致だ。いゝか、劍ばかり突き出しては氣合がつかつとらず、身體が後に残つてゐるんでは、敵は倒れん

氣合と身體と劍とが一緒にばあつと出るんだ。こんな風だ。いゝか。」

と班長はもう一度やつてみせる。

私はこの訓練ぶりにみとれ乍ら、アメリカだつたかイギリスだつたかの武官が日本軍の銃劍術の見學をした時、木銃の先をみて、これでは痛からう、バネ仕掛けのを使つたらいゝではないか、と云つて兵隊に笑はれたといふことを思ひ出した。

バネ仕掛けではないから日本軍の銃劍術は確かに痛い。が、それを痛いと感ぜずに、すり傷などは平氣でやるからこそ、日本兵の猛勇さが

出てくるとは、白人の將校どもも、大東亞戦争で、白兵戦で散々やつつけられて初めて知つたことであらう。

私は又、このやうな銃劍術を経験することによつて志願兵の諸君が、日本軍の氣合にしつくりとはまつた時のことを豫想し、その時こそ本當の日本の精兵になれる時だと、胸のふくらむ思ひであつた。

それから私は假裝船體の下に行つて、汽船の舷側の形に作られてゐるのを見上げ、この十五米もある上から、銃を肩に重い武裝をしてぶら下げられた繩梯子を傳り下りて、下の釣つてあ

つて本物のやうに左右に揺れる小舟に飛び降りる練習を、何度もさせられたことを思ひ出した。

繩梯子が大きく揺れぬやうに手足を要領よく動かして降りるのは、なかく／＼むづかしかつた。やつと降りても、下の小舟の揺れてゐる中に、倒れずに飛び降りるのは尚むづかしかつた。しかし、皇軍お得意の敵前上陸作戦はかうしたむづかしい訓練を重ねることによつて準備されてゐるのだ。

大きく高い假裝船體の兩側には、私の入營中にはなかつた。大小の發動機船の模型も出来てゐる。輸送船

から降りて、今度は波打際で、海にとびこむ訓練までしてゐるのである。

私はまた考へた。

志願兵諸君が基本體操で兵隊向きの身體を作ることから初めて、銃劍術にも必勝の信念を確保し、戦闘教練にも習熟して、この敵前上陸の訓練も経て、いよいよ南の海を渡り、敵地に上陸する時の、若々しい顔は、どんなにか生々としてゐることだらうか。

それは夢ではない。

今や正に實現されんとする楽しい期待である。

### 炊事場にて

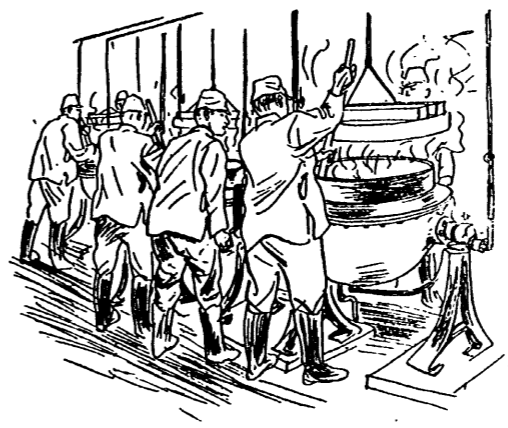
もう十一時をすぎた。

「ちやあ炊事の見學としよう。」と云つたら、MさんもIさんもこゝろした。

炊事の事務室の裏から入

つて、繩のれんをくぐらうとしたら、中から好男子の炊事係軍曹が出てきた。

顔をよくみたら、私の战友であつた永野軍曹である。あの頃は上等兵であつたが、今はれつきとした軍曹殿で、おまけに炊事係である。炊事係軍曹と云ふのはなか／＼幅のきくもので



蒸氣仕掛の釜がすなりと並んでゐる方や、調理場や倉庫の方でスケッチしてゐる間に、私は献立表をみせて

ある。「やあ、やあ」と両方でびつくりして中に入る。Mさんが炊事場の大きな

世間のだらしのない奥さんとは違つて、軍隊では炊事にも軍規が厳として行はれ、献立は十日も前からすつかり定つてゐて、何一つ遅滞なく準備が出来てゐる。

「千人位の食事はいつでもすく作つてお目にかけますよ。」

と永野軍曹なかく威勢のいいことを云ふ。「今日のおかずは。」と私は献立表をめぐつて、危く涎が出さうであつた。

軍隊はいゝなあと心からうらやましくなつた。例へば今日の献立をみよう。

朝は味噌汁(材料、大豆、豆腐、煎子、味噌)に菜漬。晝は湯豆腐(豆腐、長玉菜、トマト醬油)夕は肉うどん(干うどん)

- 味噌汁 きんぴら牛蒡
- 同 澄汁
- 同 ビーフン
- 同 生魚の空揚
- 同 カレーうどん
- 同 豚かつ
- 同 合多煮
- 同 ビーフン

牛肉、玉葱、厚揚、葱、砂糖醬油)に淺漬大根。これだけで涎の出ない人には次の八日分をお目にかける。

- 生魚の醬油焼
- 芋飯と煮染
- 煮豆と澄汁
- 肉すゐとん
- すき焼
- 豆飯と照焼
- 芋飯と天ぷら
- さつま汁

|    |     |    |
|----|-----|----|
| 肉類 | 精肉  | 四四 |
| 魚類 | 鮮魚  | 八三 |
| 根菜 | 鹽干魚 | 一三 |
| 葉菜 | 菜   | 三五 |
| 生類 | 菜   | 二五 |

|           |           |     |
|-----------|-----------|-----|
| 乾物        | 豆類        | 一五  |
| 粉類        | 粉類        | 二二  |
| 油類        | 油類        | 二五  |
| 豆類        | 豆類        | 一五〇 |
| 油類        | 油類        | 一五〇 |
| 菜漬        | 菜漬        | 一八〇 |
| 調味品       | 調味品       | 一八〇 |
| 砂糖        | 砂糖        | 四七  |
| 糖         | 糖         | 四七  |
| 其他(ビーフン等) | 其他(ビーフン等) | 四四  |

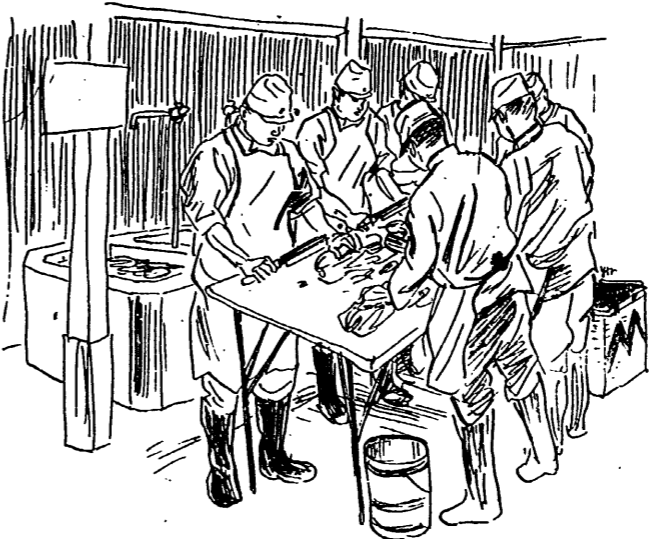
カロリーは一日平均三七〇〇—四〇〇〇カロリーに達し、ビタミン等に對する注意も事務室の壁一杯にビタミン含有量の大きな表が掲げてあるし、詳しい喰合一覽表も貼つてある。それから時々バナナ蜜柑などの加給品があり、演習のはげしい時などは、甘い

せんざいなどが加給されるのである。「これをみただけでも家の女房の作る献立は貧弱なんだね。」そんなこと云ひなさんなよ。永野軍曹は笑つた。それから私たちは下士官室で、晝食を御馳走になつた。

アルミの飯碗に盛られた麥飯がほつかりといふ香がする。「こんなに食へるか知ら。」などと云ひながら私たちはいつの間にか一粒のこさず食へてしまつて、その上蜜柑やバナナまで平げてゐる。「志願兵が入つてくるとビ

「フンなんかはあるけど、相當に考へて作らんといか

役の伍長さんが、「この前魁挺進隊が入營した時はよく



んね。」  
と私が心配すると、案内

食へましたよ」と笑つた。  
大體その地方地方に適つ

た献立を作るのだから、食へない筈はないのらしい。「でも味噌汁には弱つたらしいですよ。」伍長さんが又云つた。

「なかに日本の兵隊になるんだから、十日も立てば食ふやうになるさ。」と永野軍曹が云ふのに、「さうださうだ、さう云ふ意氣こみで来なくちやいかんね。」と私は力んだ。

さう云ひながら私は先刻事務室で嗜好調査表を見たのを思ひ出した。兵隊一人一人の嗜好を調査までして献立に苦心をしてゐるのである。

訓練でへとへとなつた身體の疲れを、不寝番に守

られてぐつすり眠つた翌朝まですつかり癒して、昨日以上の元氣を回復してくれろのは、他ならぬこの炊事係によつて慎重に作られる食事のお蔭なのである。その上に酒保まであつて、平日の甘い餅やせんざい、油揚げの入つたうどんにも事欠かぬ日曜には酒さへある。

### 酒保

酒保は兵隊の慰樂の場所である。

私がゐた頃よりすつと廣くなつて、うどんや菓子賣店は二棟になつた上、ベシチの數も二倍位に増してある。

新聞閱覽所は外に出て、前よりもすつと見易い掲示板になつてゐる。

碁を打つたり、寝ころんでいゝ氣持になる疊も相變らず敷いてあり、元氣のいゝのが夢中になるピンポン臺も揃つてゐる。

新聞をよみ、あん餅やせんざいやうどんで腹がくちくなり、のんびりした兵隊の遊び相手になる猿もゐた。

花子といふ。元は鎖で木につながれてゐたが、今は金網の中に入れてられて、つまらなさうにしてゐた。

夜の點呼の時刻が来て、兵隊たちが酒保から引上げ

てしまふと、花子の奴は淋しくなつてくるらしい。時々網を破つて脱げ出すといふ。  
「しよのない奴ですよ。逃げ出した罰に殘飯のお握



りも食はせないんですが、ちよい／＼遊びに出ましてね。しかし營内から外に出ないのは感心です。」と酒保係の兵隊が笑つて云つた。

この他に鳥小屋が二つあつて、インコ、アラジ、十

### 兵舎内

姉妹、オーカンワンなどが美しい羽をひるがへして、チチチと啼いてゐた。

酒保から私の屬してゐた××隊の兵舎内に入つてゆくと、事務室から週番の腕章をつけた××兵長がやつてきて、

「やあしばらくです。」と云ふ。私のゐる時は彼は初年兵であつた。今はもう中隊の最古參兵であらう。

私は入隊當初私が寝てゐた窓際の寢臺の前の腰掛に坐つて、懐しく班内を見廻した。

元のまゝだ。二列に並んだ寢臺、壁際

の整頓棚、長い卓子と長い椅子、卓子の横の食器棚、中央の通路の兩側の銃架、みな私がゐた時と同じだ。入口の開き戸の上に、

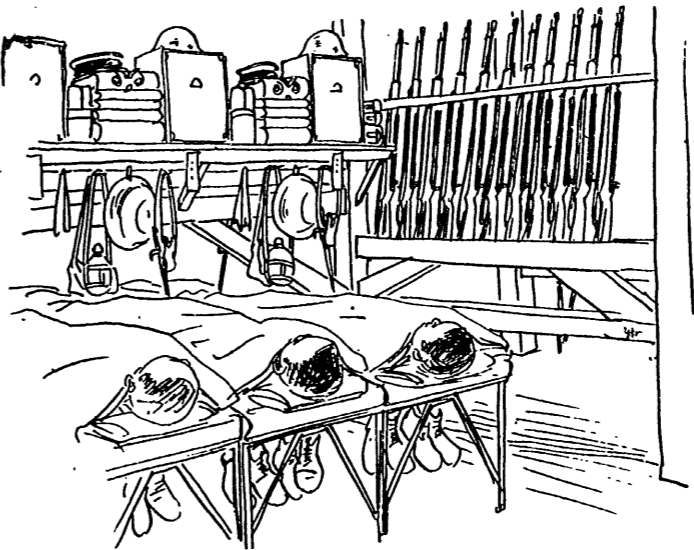
一、軍人は忠節を盡すべし  
本分とすべし  
一、軍人は禮儀を正しくすべし

一、軍人は武勇を尙ぶべし  
一、軍人は信義を重んずべし  
一、軍人は質素を旨とすべし

と白く書かれた黒板の字もあの時のまゝのやうな氣がする。

私は食事毎に、又點呼後に、この寢臺の前に立つて





何箇月もの間この御勅諭を奉唱したのであった。一つ軍人は、と唱へると、

吾身が自づとひきしまるのであつた。私はいつか軍服を着てお

るやうな氣持になつた。そして、温厚な加藤班長殿が、「おう濱田、又手紙が來てるぞ。」と戸口に現れるやうな錯覺を起すのだつた。氣がつくと宮田さんは整頓棚と寢臺と銃架を一心にスケッチしてゐる。私物を入れる木箱。その横に軍衣袴から袴下から靴下まで、同じ幅にきちんと疊まれた被服。それから背囊と鐵兜。棚の下には劍から雜囊、水筒、手入袋、儀式の時に履く一装用の軍靴まで、順序正しく釘にかゝつてゐる。整然たる簡素さである。眞暗な闇の中でも必要な

ものはすぐ摸めるやうに私は教育された。私は除隊になつてから家の中の整頓の亂雑さに一々氣を悪くした程だつた。そして兵營であれだけのものでも何の用でも足せたのと思ふと、家には不要の物が多すぎて困つた。兵隊になつたことの無い I さんは、「きちんとしたもんだなあ。」と嘆息を發して見とれてゐた。彼も家ではあまり整頓がよろしくないらしい。「初年兵が入るんで準備したんですが、人手が足らなくて毎日十二時頃までやりましたよ。」



とXX兵長が云つた。初年兵が入る前に、古兵達はかうしてきちんとすべ

ての物を揃へ、水筒の厚く堅い紐にまで絲で名前を入れて待つてゐるのである。

棚には半紙四つ切位の短冊に大きな字で初年兵の名がはつきりと書かれてある。

食器の一つ一つにも白ペンキで初年兵の名は書かれてある。そして事務所では初年兵の親兄弟のことから、家庭の状況を細々と記した名簿が出來てゐて、中隊長以下の幹部は、どの村からどんな男がやつてくるか、ちゃんと知つてゐるのである。實を云ふと、私も初年兵を迎へる準備をさせられたことがある。その時は、自分もさうして迎へて貰つたことは忘れて、こんなにまでして待つて居られる初年兵はいゝなあ、と癪にさしたことがあつた。しかも馴れない初年兵が消燈後も眠れないことにな

いやうに、古兵たちは毎晩不寝番に立つて毛布を外したものはかけてやり、枕を外すものがあれば、むにやむにや云つて首をそつと持ち上げて枕をあてがふ。風邪でもひいて發熱してゐる時には、寝臺の下の洗面器に水を入れて、始終手拭を絞つて冷やすのである。私はそれを思ひ出し、臺灣最初の志願兵も來年の今頃はこのやうにして迎へられるんだなあ、しみじみと感慨に耽るのであつた。「いゝなあ。」と思はず云ふと××兵長は、「濱田さんが除隊されてから何年になりますか。」ときくので、

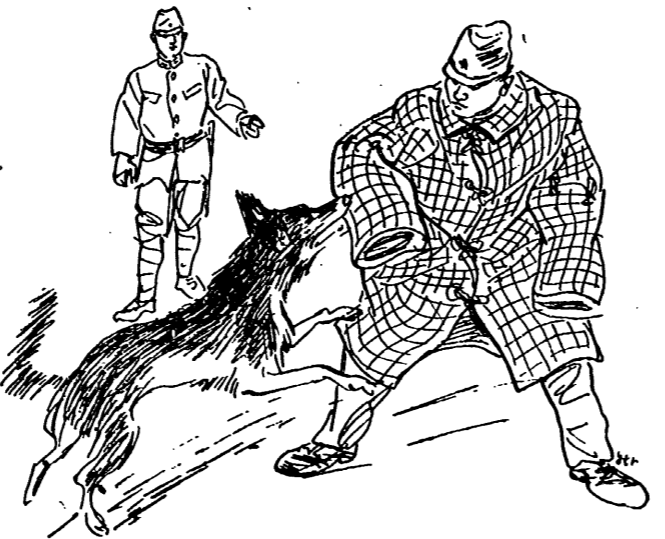
「もう二年になるね。」と云ふと、「もうそんなになりますかね。」と兵長は驚いた顔をした。激しい外での訓練、正しい軍紀の中にも楽しい夜、點呼が終つて勅諭を奉唱し、戰陣訓を唱へての一日の日課が終る毎日は夢のやうに早く過ぎて、いつの間にか立派な精兵が生れてゐるのだ。窓から外を覗くと、中隊の庭では古兵たちの銃劍術が初つてゐた。圓陣を作つての勝抜試合だ。私はオーパーを着て寒がつてゐるのに、汗が湯氣になつてゐるほど激しい氣合の入つてゐる試合だ。

### 軍犬班

真門横の軍犬班に入つてゆくと、私たち三人をみつけた軍犬が、犬舎の前で曲者御座んなれとはかり猛烈な勢で吠えかゝる。鐵の鎖でつながれてゐるとは知りながら、三人とも足がすくんで、見合せる顔は、いかにも軍用犬にとつてはうさん臭いのが當り前らしい。狼のやうな耳を立て、吠えかゝるのをみると、あの勢で咬みつかれたらヤンキーもジョンブルも一たまりもなくやられるに違ひない。

軍犬班の事務所に入つて行つたら、小さな棚が作られてあつて、その上に白布で包まれた小さな箱が安置

してある。故軍犬ルイセ號之靈と札



がついてゐた。欽縣附近の戰闘で戦死し祭られてゐるのである。

### 厩舎

〇〇部隊長に御禮を云つて今度は向ひの〇〇部隊に行き、私と同姓で高等學校の同窓である濱田少尉に案内して貰ひ、厩舎をみる。兵器検査が近くあるといふので、大砲の塗リ替や何やらで兵隊たちはとても忙しさうだ。歩き乍ら、砲を擔ぎ、馬を扱はなければならぬ。砲兵の重い責任などを聞いてゐるうちに厩舎に近く、先づ蹄鐵工場に行く。一人の兵隊は馬の後足を膝の上に抱えて、馬の爪を一生懸命削つてゐた。やすり、でこしこし外をけづり、

中は先の丸く曲つた刺身庖丁のやうな刃物で、丸くけづり取る。「ほう馬の爪も伸びるんですか。」と君が感心する。「そりや伸びますとも。だからあゝして切つてやつてから蹄鐵をはめるんです。が、その蹄鐵も馬によつて大きさが違ふんで、一々びつたり合せるのが大變なんですよ。」なるほど向ふでは焼けた蹄鐵を持つてきて爪に合せてみても合はないらしく、又鞣に入れて赤くして、鉗の上でトンカントンカン叩いてゐる兵隊がゐる。「一々あゝして合せるんです、どの馬のでも借りてく

るわけにはゆきません。だから、どの馬にも豫備蹄鐵といふのがあります。」と云つて濱田少尉は、すぐ横の小屋に案内してくれた。

みると馬の名前を書いた壁一面、その豫備蹄鐵が並んでゐる。

「行軍なんかの時はこれを持ってゆくんです。」といふ。

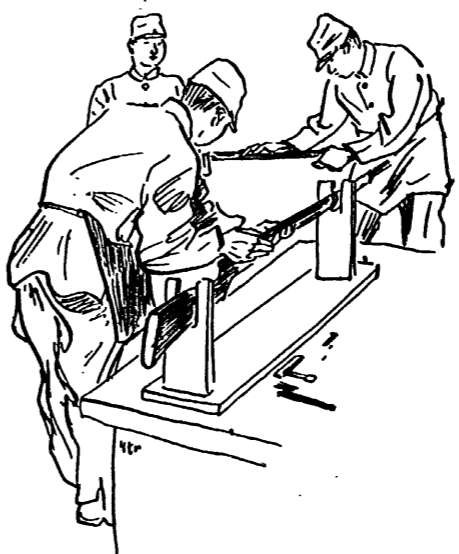
「馬にも財産があるわけだね。」と笑つて、改めて下場をみると、爪を切つて貰つてゐる馬がしきりに前足で板の間をかいてゐる。

「あの馬行儀が悪いな。」と云つたら、

「あれや馬が嬉しいときの前掻きをしてゐるんだよ。」

前掻きと云へばこの隊の兵隊言葉になつてゐるんだ。嬉しそうな顔をしてゐる兵隊がゐると、あいつ前掻きし

よ。」  
少尉殿なかく説明の要領がいゝ。  
「なるほどね。」と云ひなが



てゐるといふのさ。たとへばお嫁さんを貰ふ前なんか、あいつ嫁がきまつて前掻きしてらあ、と云ふんだ

ら、私は兵隊言葉の中にも人馬一體の結果が現れてゐるんだなあと感じました。それから厩舎に入ると、

並んでゐる並んでゐる、中央の道路に大きなお尻を向けて、みんな同じやうに長い顔の馬が並んでゐる。柱にみな馬號がついてゐるが、私にはどの馬も同じ顔で見わけなんかつかない。

「兵隊は何十頭と集つてゐる馬の中からだね。五十米位はなれてゐても、自分の馬はみつけ出せるんだよ。」へえと私はびつくりした。

しかし話をきけば無理もない。

兵隊は自分が責任を以て養ふ馬を一頭づつ貰ふのである。そして朝晝晩つきつきりである。

日に四回の食事はもちろん、多すぎぬやう少くないやう、鹽分なども少しも不足しないやうに、一々自分で吟味しなければ気が済まないほどだ。糞尿なども垂れ流すと、すぐ箒を持つてとんで行つてきれいにする。寢葉は毎朝取り出して、新しい清潔なのしか使はないし、運動不足にならないやうに、運動量表を作つて一々今日は何時間運動したと記入してゐる。

朝も馬のために、歩兵よりは三十分早く起床し、夕食後も、馬の夜食のために、自分の酒保行きは後にする。日曜の外出の時にも、馬の手入れのために、さつ

さと歸つてくる。

私は愛馬進軍歌を思ひ出した。

この愛馬心あればこそ、馬も皇軍の一員として立派な働きをするのである。

考へてみると、同じ長い顔はしてゐても、生れた處も違ひ、飼主も違ひ、性質も違つた馬どもが、かうして同じ厩舎に集つてきて、やがては、隊長の命令一つで一勢に右にでも左にでも向くやうになるのだが、人間と違つて物も云はず、性質を見きはめることもむづかしいのを、それまでに訓練するのは並大抵の苦勞ではないことがわかる。

「行軍の休止の時でも歩兵

はごろりとすぐ引くりかへつて休めるが、こつちは馬の足をこすつてやつたり、水を吞ましたり、鞍を下して腹帯をゆるめてやつたりで、兵隊の方はなかく休めないのだからねえ。」

濱田少尉は兵隊の偉いことをくり返して云つた。私達が最初にみた〇〇頭の馬はみな新馬でこないだ應召したものばかりだ。

「島内産の奴もゐるんだよこの頃は。」  
「なるほど、それぢや馬の志願兵ぢやないか。」  
「さう、馬の方が一年早く入營したわけだね。」  
さう聞いて馬號を書いた札をみると、

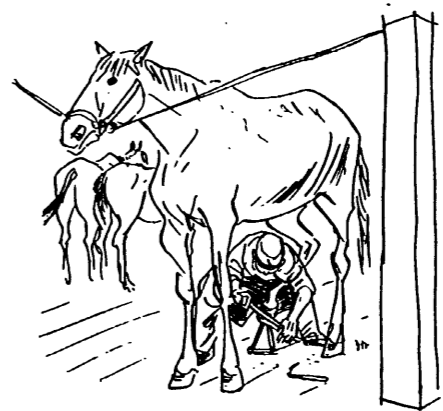
恒春號、などと云ふのがあつた。

「島内産の馬を志願兵が扱ふやうになるんだね。」  
私は感心して云つた。

### 〇〇部隊長

厩舎から酒保に廻つて、こゝで作つてゐるといふ餡餅を御馳走になつてから、待つてゐて下さつた部隊長にお會ひする。

「志願兵にならうとして張り切つてゐる臺灣の青年たちに、〇〇部隊長として、何か激励のお言葉を下さいませんか。」と云ふと、部隊長は温顔に微笑をうかべて語られた。  
「さうですね、XX隊には



馬と砲があり  
ます。馬を扱  
ふのは楽しい  
ものですが、  
なか／＼背は  
折れます。そ  
れから砲はこ  
の頃の戦争で  
は馬で索くよ  
りも分解して  
擔ぐことの方  
が多いのです。砲身なんか  
は二十五貫からあります。  
それを一人で擔ぐものは、  
どの中隊にも一人二人でな  
くゐるんです。だから××  
隊に入る志願兵は、頑丈な  
身体で黙つて困苦に耐える  
精神を持つたものでなけれ  
ばなりません。普通の兵隊

ではなくて、兵隊の中でも  
特に強いと云はれるほどの  
精兵になつてみせるのだと  
いふ氣概を持つてきて貰ひ  
度いものです。それから、初  
年兵を迎へる準備をしてお  
るところを御覧になつたで  
せうが、隊ではあれほど心  
を籠めて入隊するものを歡

迎してゐるんです。志願兵  
の諸君もあゝして待つてゐ  
るんです。澤山の志願者の  
中から嚴選されたものが入  
隊するんですから、優秀な  
ものはかりが来るわけでせ  
うから、今から楽しみにし  
て待つてゐますよ。」

「高砂族の人たちなんか、  
山地戦ではいゝでせうね。」  
と云ふと、部隊長は、  
「さう／＼こないだ、山に  
入つてみたんですが、いゝ  
身體をしてゐますし力もあ  
りますね。あれは確かに×  
×兵向きだね。」と云はれて  
破顔された。

### 陸軍醫院

もう夕方近くであつた。

時間を気にしながら私たち  
は、陸軍病院に急いだ。  
白衣を着けたいかにも軍  
醫さんらしい〇〇院長殿  
は、お忙しい中を熱心に陸  
軍病院の力について説明し  
て下さつた。

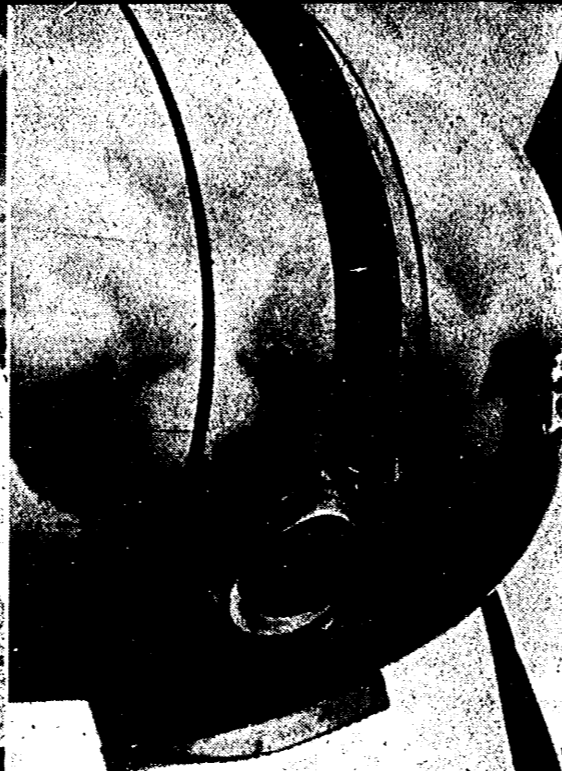
支那事變が起つてから吾  
國の軍陣醫學は非常な進歩  
をした。たとへば日露戦争  
當時は戦傷病兵の八割は内  
地に還送されたものである  
が、現在では六割は戦地で  
完全に治癒して、内地還送  
は四割にすぎない。これは  
戦時衛生機關の大改善が行  
はれたからである。

殊に治療の完全を期する  
ために、軍内診療體系」と  
いふものが確立されてゐ



## 戦果南方に大擴展

南方圏に活躍する  
我が鐵血陸軍

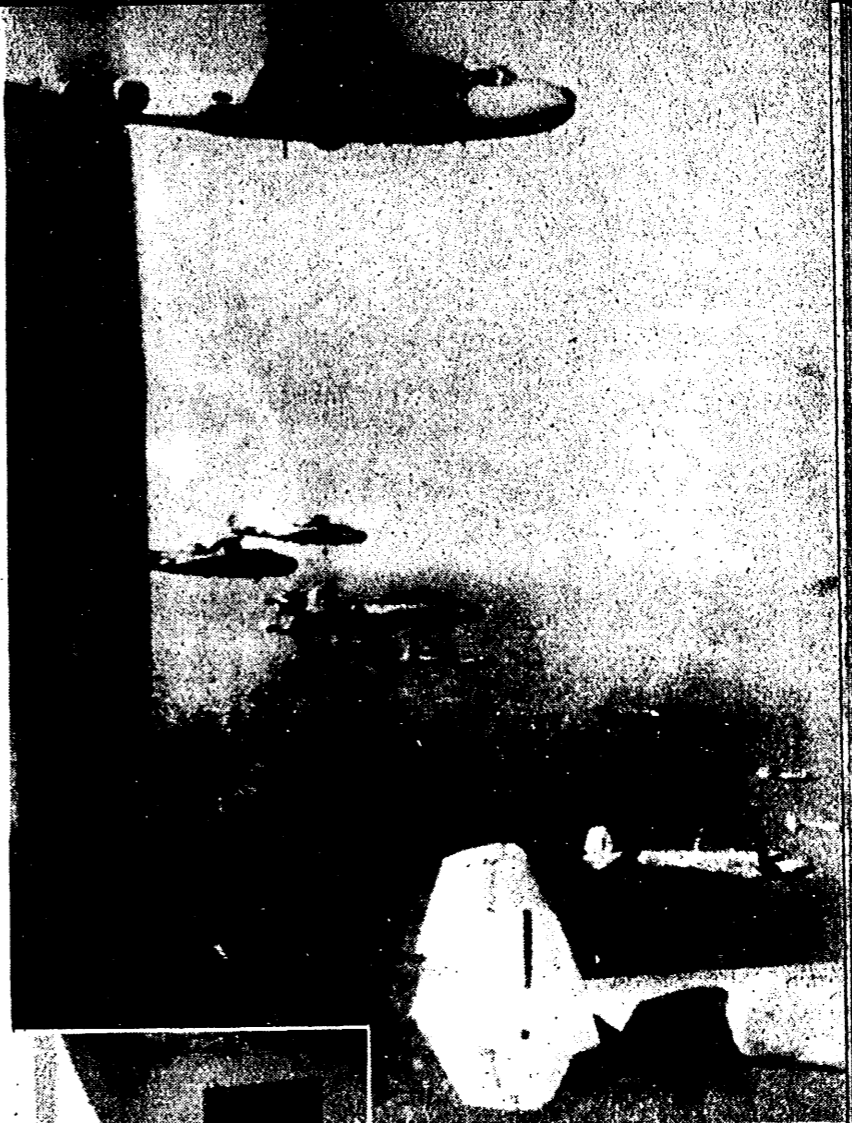


# シ近落陥のルーポガンシ

【真説明】上・マレ  
「戦線に於て出動命令  
を受ける陸軍。左より  
爆撃を終へて基地に翼  
を休める陸軍。南方陣  
に活躍する海軍特別陸  
戦隊。炎熱下ビルマへ  
進軍。ウエーキ島に於  
て我が海軍に爆破され  
た敵の戦艦機。」

# 我が海鷲 南海を制圧

左・ヒッピンの子供たちに  
お土産をわける皇軍勇士



る。

これは一口に云ふと、同じ病院でどんな病氣でも治療するのでは、治療が徹底しないから、病院毎に専門的な施設をし、たとへば軽症者は三等病院に、重症者は二等病院に、整形手術・四肢切断・内臓手術・義眼義肢などは東京第一陸軍病院に、と云つた風に患者を分けて、徹底した専門的治療をするのである。この方が確かに治療は早い。

配、就職の心配から結婚の心配、などの患者の精神上的苦勞をも棄て、は置かず、病院の重大な業務としてやつてゐる。だから戦傷病兵は完全な治療を受けることになる。臺北で治らないものは内地の専門的な病院に送られて治るまで治療されるし、もし不具となつたにしても、職業輔導部等で、就職の世話をし、恩給の手續を間違ひなく世話するのである。

病院でして、戦地からの重症患者を收容するのが任務であります。が、地理的な關係から、あらゆる病氣を治療するだけの設備は整つてゐます。どんな傷でもどんな病氣でも、こゝでちゃんと治療できます。ですから志願兵や志願兵の家族の方は、入隊後どんなことがあつても大丈夫だと安心していただくべき度い。何でも癒してやれるんです。」と自信深さうに云はれた。

「今は居りません。」といふことだつた。私は更に、「軍夫の戦傷病者が地方に歸つてから再發した場合に、こゝで治療してくれるんですね。」とお聞きしたら、「軍夫は軍属の扱ひですから、いつまでも治療はうけられますよ。」との御返事に私は安心した。

最後に、「志願兵諸君に病院長としての御注意はありませんか。」と云ふ質問に、院長さんはかう答へられた。「いづれ志願兵訓練所に入る前に厳密な検査をやり、入隊前に又徴兵検査と同じ検査をするわけですから、

かうした事を院長さんは詳しく説明して下さい。さうして更に言葉を繼いで、

「この〇〇陸軍病院は〇等

病院といふものは身體の創や病氣の治療などはかりをすればいいのであつたが、今度は精神的の創、例へば除隊後の病氣再發の際の心

ほんとに立派な身体を持つ、立派な身体になるやうに  
 た人だけが志願兵になる管と、鍛錬を怠らないこと  
 ですが、一番注意して貰ひ兵の身体はどんなものか、  
 度いのは、その検査が終つてから入隊するまでの間に  
 油断しないことですね。第一回目で十分に吟味する  
 つもりでゐますから、志願者は今から節制と鍛錬とを  
 つたりしては、第一回の志願兵としての大變な恥辱で  
 すからね。その間にもつと

たつた一日の短い時間だ  
 けれども、私は志願兵を迎  
 へる軍隊の様子を實際にみ  
 て歩いて、軍が並々ならぬ  
 關心と期待とをもつて、心  
 から志願兵を待つてゐるこ  
 とをはつきりと知つた。

### 結 び

軍隊は、臺灣初めての志願兵を恩威二つながら兼ね備つた訓練によつて、立派な日本の精兵に作り上げようと、手具揃ひいて待つてゐるのだ。



しない、とまで男性を激励してゐる。

かくして選ばれた志願兵が、この傳統に輝く軍隊で教育される結果は、何といふ輝かしく美しいものであらう。

その日はやがて来る。臺灣の歴史が燦として光りを發するその日は、眼の前に來てゐるのである。

島人に寄す

菊池 劍

安らげく老を養ふ幸のもとと思ひいたらばさと  
 るところあらむ  
 大君の兵の母とし妻としもなりて榮あれ臺灣  
 婦人  
 大東亞の民族こそり立つときし知識階級立た  
 であるべき

(作者は松尾部隊長の筆名)



戦争がどんなに長引いても、食糧に困るやうなことは絶対にありません。本年の第二期作の收穫高は、昨年比べて相當の増收です。それに東亞の制海權がわが手に歸したので、外米の輸入も順調に行はれてゐます。殊に非常用として、防空重要都市には一定量の精米が貯蔵されてゐます。米倉には白のお米が山と積み立ててゐるのです。

(寫眞は精米貯藏中の某倉庫)

# 大東亞戰爭日誌 (自一月十七日 至一月十八日)

- 一月七日
  - 比島戦線に於て陸軍は自 動車一四六輛爆破、船舶 十隻撃沈。
  - 陸軍クルアン飛行場急襲 重爆十機撃破。
  - バハン河以北の英軍完全 に掃蕩す。
  - 八日
    - マレー戦線に於て西岸部 隊ベルナム河口上陸、カ ンバル完全占領。
    - 九日
      - 英兵ネグリ・センピラン 州へ總退却。
      - マレー戦線に於て英空軍 戦車砲二十、其他銃器彈 藥多数。
      - 非人道の敵潜水艦我が病 院船を攻撃。
      - 十一日
        - 皇軍スリム附近にて英軍 三萬殲滅。
        - 蘭領セレベス島メナド市 占領、蘭領ボルネオ、タ ラカン島占領。
        - マレー領西海岸クアララ ンブールに突入。
        - 十二日
          - 香港方面海軍綜合戦果、 撃沈艦艇二十三隻、拿捕 船舶大小百十隻、拘束處 分機雷百二十八箇。
          - オロンゴボ港占領。
          - 十三日
            - シンガポール第五次爆撃 大炎災。
            - 和蘭軍艦プリンス・ファ ン・オラニエ撃沈、爆 撃機九機を撃墜。
            - 十四日
              - 我が潜水艦米航空母艦レ キントン(三萬三千噸) を撃沈。
              - マレー西海岸ジョホール 州に突入。
              - 十五日
                - シンガポール反復爆撃。
                - 一月十日までの綜合戦果 敵船舶百九隻三十六萬二 千噸。
                - 十七日
                  - 蘭印タラカン飛行場占領
                  - フィリピン・パタアン 半島に敵前上陸。
                  - マレー最後の敵飛行基地 パトバハ占領。
                  - 十八日
                    - シンガポール連續空襲、 敵機撃墜三十八機敵軍港 大炎災。

## 陸軍特別志願兵 募集要綱の解説

# 志願兵の手引

内務局兵事防空課

昨年六月、臺灣に昭和十七年度より志願兵制度を實施することが發表せらるゝや、島民多年の熱望が茲に達せられたので、全島は感激と感謝の坩堝と化し、津々浦々に至るまで湧き上る歡喜の裡に感謝式が行はれ、青年の志氣を振ひ立たせたことは、官民の深く肝銘致して居る所である。

果せる哉、青年の意氣は熱血溢るゝところとなり、未だ募集を開始せざるにも拘はらず、志願を申出でた者が既に八千名の多數に達し、尙陸續として願出で居ることは、毎日の新聞の報ずるところであつて、既に御承知の通りである。

當局としては準備既に成り、恰度實施を進むる時期に至つたので、本日を期し、制度の内容、募集の要綱等を發表致した様な次第である。

時恰も米英兩國に對し戦は宣せられ、一億國民鐵石の團結を以て、大東亞戰爭完遂に邁進せんとする秋、本島に志願兵制が實施せらるゝことは一段と意義深きものがあり、本島に荷せら

れたる責任も亦一層重大なるを痛感するのである。

此の制度は、一言にして言へば本島人が國軍の一員に加はり、盡忠報國の誠を效す崇高なる大任を授けられんとするものであつて、名實共に日本國民としての榮譽を具現されたものであり、正に本島統治史上記念すべき一大事項と云ふべきである。

此の有難き制度が本島に施行される様になつたのは、御稜威の下歴代の總督が力を效され、島民も亦自ら進んで一日も早く立派な眞の日本臣民にならうと努力した賜であつて、殊に今回の事變に際し、島民が身



を以て示した愛國的精神、感激的行動は、内外の等しく認むるところである。此の良き社會的情勢に加ふるに、教育の普及は國語の常用を普遍的ならしむると共に、體位の向上を促し、個人的資質から觀ても概ね兵隊になり得る條件が備はつて居ると認められた結果に他ならないのである。

更に又此の制度の目的は、此の制度の實施によつて本島施政の根幹である皇民鍊成の躍進的進展を期すると云ふことに在るのである。即ち國民精神を陶冶鍊成する上に於て、軍隊程切實なものはない。本島の青年諸君が軍隊に入り皇國精

神を體得し、一層の磨きをかけて故郷に歸り、在郷軍人として郷黨を薰化するべき、本島の皇民鍊成は一大躍進を見ること必定である。

以上が特別志願兵制が本島に施行せられた人體の主眼であるが、要するに志願兵と成り得た者は、日本男子としての最高の榮譽を獲得したことになる、同時に本島青年の中に於ける最も立派な青年、郷黨の模範人物であることが證明されたことになり、従つて志願兵を出すことは一家一門の大きな譽と云ふべきである。

全島の青年諸君は固より、其の家族近親者皆が此

處を良く理解して、今度の募集には富者と云はず貧者と云はず、又都會と云はず農村と云はず、多數の人が勇んで應募し、餘り多くて其の銓衡に困ると云ふ程にならなければならぬ。

扱て然らば、應募するのにはどんな手續が入るのか、どの様にして志願者か、どの様にして志願者か、どの様にして志願者か、又どの様にして志願兵となり得るのかと云ふことに就て、其の概要を述べると次の様になる。

### 制度の概要

先づ志願兵となるには志願兵として入營する前に、

### 募集要綱

註一、陸軍特別志願兵たらんとする者は、入營する迄に臺灣總督府陸軍志願者訓練所に入所し、其の課程を修了したる者に限るものなり

註二、志願兵制度に關する法令は、本日公布の豫定なるも、公布前本要綱により準備を進むるものなり

#### 一、採用人員

若干名

#### 二、入所期

前期 昭和十七年六月  
後期 昭和十七年十二月

一、左の各號に該當し、受験地所轄の州知事又は廳長の

今度新に臺北に設けられる

臺灣總督府陸軍志願者訓練所に入所し、此の訓練所の課程を修了した者でなければならぬのだから、此の訓練所に入所すること

が、つまり志願兵となることになるのである。訓練所の内容は如何なるものであるかと言へば、大體學校と兵營とを併せたものと考へて差支へない。

募集人員は若干名である。入所の時期は概ね六月と十二月の二回であつて、訓練の期間は六箇月間である。六月に入所した者、即ち前期訓練修了者は、原則として現役兵として一般の

兵隊と同様入營し、上二月

に入所した者即ち後期訓練修了者は第一補充兵に編入せられ、短期入營することになる豫定である。

前期入所者後期入所者の募集並に銓衡は、年一回同時に實施す。

生徒は一旦入所すれば全部所内に宿泊し、團體生活の訓練を體驗することになつて居る。又入所中は學費と糧食を給與され被服の貸與を受ける。

### 入所者の資格

そこで訓練所に入るにはどんな條件を備へた人であればならないか、つまり

應募することの出来る人は

どんな人かと申せば

一、今年の十二月一日で満十七歳以上の人、年齢の上の方には制限がない

二、身長は一・五二米以上で、徴兵検査の甲種又は第一乙種に相當する者

三、國民學校初等科を修了した者、又は之と同等以上の學力を有すと認めたる者  
四、志操堅固で行狀方正なる者  
等が其の要件になつて居る。

### 願出の手續

入所志願者はどんな手續

推恩したる者の中より銓衡の上決定す

1 年齢十七年以上の者(昭和十七年十二月一日に於ける年齢とす)

2 身長一・五二米以上にして、陸軍身體検査規則の規定に依る體格等位甲種又は第一乙種に相當する者

3 國民學校初等科を修了したる者、又は之と同等以上の學力を有すと認めたる者  
四、左の各號の一に該當する者は入所することを得ず

1 破産者にして復権を得ざる者  
2 禁錮以上の刑に處せられたる者  
3 罰金刑に處せられたる者と雖、其所犯志願兵として不適當と認むる者

#### 四、志願手續

入所志願者は入所に履歷書及官公立醫院又は公醫の作製せる體格検査表を添へ、本籍地所轄の郡守、市長又は支廳長に提出すべし(臺灣外に居住する者も同じ)入所願及體格検査表は所定の用紙を郡役所、市役所、支廳又は街庄役

が要るかと言へば、先づ入所願に履歴書と體格検査表を添へて本籍地の郡守、市長又は支廳長に提出するのである。

體格検査表は官公立醫院又は公醫の作つたものでなければならぬ。入所願と體格検査表は當局で印刷した用紙があるから、郡、市役所、支廳又は街庄役場より交付を受けるのである。

### 郡守、市長、支廳長の審査

郡守、市長又は支廳長はこれ等の書類により一應審査した上、意見を附して州知事又は廳長に進達するのである。

### 知事、廳長の銓衡

である。

州知事又は廳長は郡守、市長又は支廳長よりの進達に基づき、各志願者に付審査を行ひ、適當と認められたものに付いて試験を行ふのである。其の試験の日時及場所は試験の日の十日迄に受験者に通知せられる。

本年度の試験日は、概ね四月一日より四月二十日迄の間に於て行はれる豫定である。

試験は本籍地又は現住地の何れでも都合の良い州、廳で受けることが出来る。

### 訓練所長の銓衡

試験の方法は身體検査、口頭試問及學科試験の三ツに就いて行はれ、學科試験は國民學校初等科修了程度により國語(譯解、作文及書取)國史及算數の三科目である。尙學科試験は中等學校以上の卒業者に對しては省略することがある。

此の試験の結果によつて州知事又は廳長は訓練所に入所するに適當すると認められた者を訓練所長に推薦するのである。

- 場より交付を受け、履歴書は所定の様式に依り志願者に於て作製するものとす
- 五、願書受付期間
  - 自 昭和十七年二月一日
  - 至 昭和十七年三月十日
- 六、審 査
  - 郡守、市長又は支廳長は願書提出者に付審査の上、意見を附し州知事又は廳長に進達す
- 七、試 験
  - 志願者は本籍地又は現住地所の州知事又は廳長に行ふ試験を受くべし
  - 試験は身體検査、口頭試問及學科試験に分つ
  - イ、身體検査
    - 陸軍身體検査規則の規定に準じて之を行ふ
  - ロ、口頭試問
    - 人物審査に重きを置き之を行ふ
  - ハ、學科試験
    - 國民學校初等科終了の程度に依り、國語(譯解、作文及書取)、國史及算數の三科目に付之を行ふ。但し中等學校程度以上の學校を卒業

軍身體検査規則に準じ、改めて身體検査を行ふのである。

検査の日時及場所は、検査を行ふ日の十日前迄に受験者に通知することになつて居る。

本年度の身體検査は、概ね四月二十五日より五月十五日迄の間に於て行はれる豫定である。

此の検査に合格した者に付、最後の銓衡を行つた上臺灣總督の認可を受けて始めて入所する者を決定するのである。之で愈々最後の決定を見た譯で、入所決定者は府報に氏名と入所時期を公告すると共に、本人にも通知される。

以上が大體訓練所迄の概要であるが、斯くて入所が許されると、六ヶ月間の教育を受け、其の教育を終へた者が始めて陸軍特別志願兵として、晴れて入營し得る資格を得る譯である。

一旦入營すると、其の取扱は一般軍人と毫も差別なく、齊しく國防を雙肩に擔ふ名譽を有すると共に、夫

々に應じて幹部候補生の志願も出来るし、成績によつては下士官志願も許されて累進の途が開かれて居るのである。又除隊後の青年は立派な青年として折紙を附けられ、従つて郷黨の第一人者となり、就職其他に付ても自然社會的に優遇されることになるであらう。

臺灣總督府殖産局 加除式五千頁 一〇〇〇  
物價調整課編纂

### 臺灣價格關係法規類集

價格統制法規の權威ある決定版

臺灣總督府内 臺灣時報發行所

- したる者又は之と同等以上の學力を有する者に對しては之を省略することあるべし
- ニ、試験の日時及場所は施行概ね十日前迄に之を受験者に通知す。通知なき者は受験するに及ばず
- 八、入所決定
  - 訓練所長は州知事又は廳長より推薦したる志願者に對し、陸軍身體検査規則の規定に準じ、臺灣軍司令官の指定する陸軍軍醫に委嘱して身體検査を行ひ、臺灣總督の認可を受け入所者を決定す
  - 身體検査の日時及場所は、施行概ね十日前迄に之を受験者に通知す
  - 入所決定者の氏名及入所期は臺灣總督府報を以て之を公告し且本人に通知す
- 九、給 與
  - 入所中は學食及糧食を給與し被服を貸與す

# 皇民講座

第十講

## 神社

わが國は、昔から神國といはれ、敬神の念がさかんである。したがって、神社の數も多く、皇大神宮をはじめとして、官幣社・國幣社としてたつとばれてゐるものだけでも、二百以上もあり、それ以下の神社の數は、實に十一萬以上にのぼつてゐる。

本島には、官幣社として、臺灣神社・臺南神社の二社があり、それ以下の神社は五十六社、そのほかに小さなお宮が百十何社とある。

かやうにたくさん神社があるから、年中あちこちにおまつりが行はれるほか、毎月一日・十五日には、全國一やうに参拜が行はれる。その上、どこかの家にも神棚があつて、大麻をおまつり申してゐるから、日本全國一日と

して、拍手の音のたえる時がない。まつたく、日本は神國である。

わが國の神さまは、皇祖天照大神をはじめ、その御子孫の神々、またその御子孫をおたすけ申しあげて、この國を發展せしめたまうた神々、また御代々の天皇の御徳のとくにすぐれさせたまうた方々を、おまつり申しあげたものである。そのほか一ばん臣民の中で、とくに國家のために、功績のいちじるしかったものは、神としてまつられる。和氣清麿は護王神社に、楠木正成は湊川神社に、新田義貞は藤島神社にまつられてゐるが、これらはみな名高い忠臣であるからである。今でも、事變や戰爭に護國の華とちつた英靈は、靖國神社にまつられる。

かやうに、わが國の神社は皇室の御祖先および大昔から、皇室國家に身をなげうつた方々をまつつたものであるから、永久に國のまもりとなるべきものであり、國民のかがみとなるべきものである。それゆゑ、われわれが神をうやまふ意味は、これらの神々の御徳をほめた、へ、これらの神々が、わが日本のためにおつくしになつた御功績に感謝し、われらも、これらの神々のみこころ

をうけつぎ、神のみをしへにしたがつて、國家のためにつくさうといふことにある。したがつて、神にまうで、私事にわたることをおのりすることは意味をなさない。臺灣神社におまわりして、どうぞお金がまうかりますやうにといふつたところで、金もちにはなれない。それどころか、今どきそんなことを考へてゐるのはけしからんと、おしかりをうけるにちがひない。また、どうぞ病氣がなほりますやうにといふつたところで、これも、病氣をなほしたかつたら醫者にゆけといはれるにちがひない。わが國の神社はさういふ個人のかつて氣まゝなねがひごとをきゝとどけるところではない。

世の中には、病氣をなほしてくださる神さまだとか、幸福をさづけてくださる神さまがあるさうで、さういふ神さまはすむぶんはやるとかいふが、さういふことがほんたうならば、世の中には貧乏人も病人もあるはずがない。さういふことは、もう迷信といふことになる。神社はぜつたいに迷信に關係はない。

神社は、國民としての心もちから、天皇陛下の萬歳をいのりたてまつるとか、國運の發展をねがふとか、皇軍

の武運長久を祈願するとか、すべて國家の幸福を念ずるところであつて、一身の利益幸福をいひのるべきところではない。一日・十五日にかゝらず神まわりをするはいゝが、いつたゝびに、自分自身の幸福をいひのるといふことであるならば、それは無意味なことであり、かつ神さまにたいする道ではない。

神社は、われわれ國民の精神生活の中心である。われわれは神社におまわりして、神さまのお心もち、すなはち國家のためにはたらけといふ教訓をうける。心を正しくもつてくらし、それが國のためだといふおさとしをうける。からだをきたへよ。からだを弱くしては十分に國家に奉公が出来ないぞといふみをしへをうける。勉強せよ。勉強して國家に有用な人間になれといふおしめしをうける。われわれが、一身一家をかへりみず、國家のためにはたらく時にのみ、神さまはぜつたいにわれわれを助けてくださる。わが國の神さまは、さういふわけのものである。

總督府編修官 中美春治

### 高岳親王の御壯途

今より千餘年前  
マレー地方を御踏破

大東亞の聖戰は、世界の人心を新たにすべく戦はれつゝある。今更ら過去の追懐になぞ耽つてゐる場合でない。といふものがあるかも知れぬ。まことに、その通りである。併し、正しき勇氣は、正しき傳統の中からのみ奮ひ起される。マレー攻略戦今たけなはなるのとき、はるかに、千有餘年前に、

金枝玉葉の御身を以て、荒漠たる瘴煙盤雨の地に、足跡を印せられた御方のあることである。

涉り、聽受領悟、罕ニ其人ヲ見ル。とあるによつても察し得られる。

高岳親王は、平城天皇第三の皇子にわたらせられ、一とたびは、嵯峨天皇の皇太子にまで立たせられた高貴の御身であるが、藤原仲成及び樂子の亂に座して、佛門に志を抱かれ、法號を「真如」と稱し、東寺に學んで眞言密教の奥義を極めさせられた。其他、三論を法隆寺の僧道詮に問ひ、禪林寺の宗徹、傳法院の修圓等に就き、凡そ道として極めざるなき精進を持せられたことは、三代實錄に親王機識明敏、學内外ニ

親王は太宰府に於て、唐の商人李延孝に渡航の事を問ひ、便船を待ち合され、九月九日、櫂を解いて壹岐に向ひ、轉じて、肥前の松浦郡柏島に到り、十月七日に、唐の通事張文信に命じ、船一隻を造らしめ、翌四年五月に至つて、竣工を見たので、その船に搭じて、愈々入唐の航海に就かれた。同行者は、禪林寺の宗徹を始め、船頭、水夫を併せて總勢六十人の多きに達した。

船は九月七日、唐の明州に安着した。明州は、當今の浙江省寧波の地である。親王は、この附近に滯留せられること約二年、貞觀六

年(一五二四)、始めて北方の地に向ひ、翌七年、始尾よく長安(唐の國都)に到着せられた。

に南方の門戸として、印度及び波斯方面との往來には、缺くべからざる要衝であつた。

親王は、此の地に於て、航海の準備を整へ、數十日間從者の來着を待ち合はされたが、生憎とその從者は、待てどもく來らず、貞觀八年正月七日、親王は遂に意を決して、單身印度行の壯途に就かれた。金枝玉葉の御身しかも、八十餘歳の高齡にわたらせられたと承はる。日本國民は、往古にさかのぼり、親王の御心事を察し奉り、肅然、襟を正さざるを得ないのである。南進の聲、今始めて聴くにあらず、千載の史籍に、既に明鑑あり、四百年來西虜の蹂躪に委せた郷土恢復の業、今日始めてその緒に就く、寧ろ、晩きに過ぎるかの感がある。

斯く親王は、蓋世の雄圖を抱いて渡天の壯途に就かれたが、その後、奮として消息を聞かざること十餘年の久しきに及んだ。親王に扈從して入唐した留學僧宗徹は、既に歸朝した。朝廷、親しく之に就て、經過を尋ねさせられたが、遂に、答へ奉るを得なかつたとある。陽成天皇の元慶五年(一五四一)、在唐の留學僧瑠は朝廷に申狀を奉つて、印度に向はせられた眞如法親王が、流沙を過ぎて羅越國に

到り、遂に、逆旅に於て遷化せられた事を奏聞した。流沙の地は、いま瞭らかでない。或は蒙疆といひ、或は天山南北路のいづれかである。それにしては、少しく方向が外れてゐる。

が、陸路であるといふ事である。若し陸路であるとすれば、前記ラオス(老撾)の地點も、幾分考慮の餘地があり、天山南北路經過説も、場合によつては、考へられぬこともない。併しなが

### 志願兵

— 關東のための詩 —

西川 満

兵隊になれる

日本の兵隊になれる

君が 君が 君が

そして僕が

ああ 臺灣に志願兵制度施行さる!

僕の血は湧く

僕の血は湧いて進む!

ら羅越國とは、現今の佛領印度支那ラオス(老撾)の地がそれであるといふ説が、久しく有力であつた。或は、親王は、該地に於て、虎害に遭つて薨せられたといふ説もある。此の種の説話は「撰集抄」等に興味深く説くところだが、佛法因果の説に偏して、後世の假託に過ぎないかの感がある。

それよりも、更に重要な問題は、親王渡天の御経路から、これらの諸説は、連繫の點に於て支離滅裂である。親王が、既に、當時の廣州、今の廣東の地まで下向せられたことは、敘上の考察によつて明白となつた。それから先は、海路を

今こそ 僕らが  
身も たましひも 擧げて  
日本人になるときが来たのだ!

海行かば水漬く屍

僕らの 志願兵

山行かば草むす屍

僕ら待望の 志願兵

ならう 今こそ

君も 君も 君も

そして僕も なつて征かう

陸に 海に 空に

太平洋は 亞細亞は

南の美しい島々は

僕らの來るのを待つてゐるのだ!

大東亞建設のために

今こそ僕らは 共に銃を執つて

大君の醜の御楯とならう。

ああ 僕ら榮光の臺灣志願兵!!

在の馬拉ツカ海峡に當ることとは、殆ど疑ひの餘地がないから、随つて、羅越國も佛印のラオス(老撾)ではなく、蘭印スマトラ島のバレンバン對岸の地方であることも、明白になつて來る。

親王が廣州御出發に際して、從者の來着を待たず御乗船あらせられた事は、既に述べた通りだが、此の事實は、愈々以て、海路説を力強く裏付けるものであり當時の航海は、帆船であつて、季節風を利用したものであるから、若しその時期を失へば、風位を待つために、一箇年の延期を餘儀なくされるので、御高齡の御身が、寸刻の猶豫あらせら

れず、單身壯途に就かれた前後の事情も、歴々として察し得られる。

歴史は生きてゐる。單なる死文ではないのである。御身は皇儲の貴きにあり、やがては萬乗の尊位をも踐ませらるべきが、一とたび桑門に歸し、縞衣をまとい、はるかに峻嶺を越え、險海を航つて、渡天の壯途に就かせらる。椰子樹かほる馬拉ツカの海、今は砲煙彈雨の巷と化して、幾多忠勇義烈の士が、大東亞建設の業にいそしんでゐる。法親王の英靈ましますば、莞爾として、將兵の果敢なる行動を御覽遊ばすことであらう。 瓜生薑之亞

# 時局解説

## 大東亞戦争の推移 (三)

天馬空を駛り咬龍洋を航る  
落日を望んで米英の嘆息長し

情報部

### 一、スリム附近の大殲滅戦

#### 新嘉坡へ十七里!

カンバル附近陣地の突破、ユンカイ、タンジョンアリム線の撃破と雪崩の如くに南下し來つた皇軍を遑へ、此度こそは開戦來の敗退を喰ひ止めんと、敵は兵三萬、砲四十門を掻き

集めて、我が軍をクララ・ルンブル北方の山間狭路に誘ひ込まんと企らんだ。誘はれると見せかけた我が軍は敵海空軍の監視をくぐりつゝも、機動艇によるマラツカ海峡迂迴作戦に出た。

即ち敵の背後クララ南方モリアに奇襲上陸を敢行し、十二月七日午前七時トロークに行動を開始してより、僅に九時間、濕地密林の二十軒を突破してスリムに殺到、歩、工、空、戦車の綜合、至妙なる戦術は忽ちにして敵三箇旅團を、自らが設けた狭路作戦の良に追ひこみ、敵を殲ぐこと草の如く、縦横無盡に蹂み潰し、

遂に敵をして四分五裂、重山砲類七十二門、輕裝甲車五十臺、自動車五百三十輛を遺棄するの止むなきに至らしめ、投降捕虜千二百名を數へる大戦果をあげたのである。これを「スリム附近の大殲滅戦」といふ。  
次いで十一日にはクララ・ルムブルを完略し、十四日にはゲマスに突入、十五日正午にはマラツカ市を

占領して、新嘉坡より印度への連絡路を完全に遮断し、マラツカ海峡制壓の鐵環を打ちこんだのである。更に十六日にはバト・パハ十八日にはボンデイアン、

タル、獅子島といはれて來た新嘉坡の運命も今はたゞ

時の問題に過ぎないと諦めてゐるのだ。

### 二、巨鯨レキシントンを屠る

#### 我が潜水艦艇の活躍

バサールを占領して、新嘉坡まで残すところ三十哩(十七里)に敵を追ひ詰めたのである。

一月十二日の夕刻。我が一潜水艦が太平洋の真唯中、ハワイ西方の海底を潜

するではないか。艦上には艦載機がズラリと翼を際なく列べてゐる! 正しく米が世界に宣傳し來つた三萬三千噸の航空母艦レキシント

早く、既に、わが艦のあたりには一齊に放つた敵驅逐艦群の砲火が熾烈を極めてゐた。爆雷の轟音と水煙、砲彈の炸裂と火焰太平洋爲に狭しの感も嘘ではなかつた。  
わが潜水艦の姿がない。わが潜水艦は潜没(急速に、潜望鏡もろとも深く潜水するを云ふ)してゐたのだ。そして太平洋の深海中にあつて、この潜水艦は間もなく二回にわたる大爆發を聴音した。米國航空母艦レキシントンの臨終だつたのである。  
ハワイに於いて主力を覆滅され、太平洋上作戦基地は悉く攻略、占領された。

# 時局解説

一方新嘉坡當局は我空軍の夜襲を次ぐ連日連夜の空爆に震へ上り、既に、一月十日頃からその放棄説が公然と論ぜらるゝに至つた。英政府當局自らも同要塞東洋のシブラル

望鏡も、既に海上に襲ひかゝつた薄暮の爲に視界が効果なかつた。その潜望鏡がビクリ!と神経を緊き締めたのである。見よ、巨鯨の姿! 數隻の驅逐艦がこれを護衛の爲に取り巻いてゐる。而かもその巨鯨は山なす太平洋の波濤を蹴り分けて西進

雷が飛んでいつた。見事、二本とも命中! だがこの時

# 時局解説

比島亦僅に餘喘を保つてゐるに過ぎない。米國艦隊は一體、何をしてゐるのか。米國が世界に向つて傲語し來つた對日太平洋

## 三、生れ出づる新なる大日本海

### 北千島より南ボルネオに至る

洋渡洋作戦は何うなつたのか。徒に寸断された醜い残骸があるだけではないか。これが米東洋艦隊に浴せられた米國輿論の喧々囂々たる非難であつた。あゝ、レキシントンはその非難に答ふべく、對日渡洋爆撃——日本本土の空襲を圖つたのであらうか。それが一朝にして姿も知れず太平洋の大濤の間に吞まれて逝つた。武

人の情、壯途空しくして果てたレキシントンの爲に、一滴の涙を廣七千哩の太平洋の真中に落さうではないか。

一月十六日大本營の發表によれば、開戦以來一月十日までに、我が艦隊が撃沈拿捕した敵船艦は合計百九隻三十六萬二千噸に上つてゐる。これについては、我々は帝國又總計十一隻四萬六千八百噸の犠牲を擧げてゐる事を忘れてはならない。併し乍ら敵の喪失に比すれば極めて甚少であり、この程度の犠牲で、既にわ

れ等は新なる大日本海を生み出しつゝあるのである。東亞の大地圖を擴げてみよ。

北は千島、樺太より滿洲の國境に沿つて支那大陸に下り、佛印、泰、馬來、スマトラ、ボルネオ、セレベス、ニューギニア、爪哇、アリューシャン——この圓い線を辿つてみよ。

馬來の完全攻略によつて

印度洋も一睨みだ。濠洲も亦わが制壓を免れないであらう。蘭印の諸島は既に縮み上つてゐる。(蘭領ボルネオのサラカン、セレベスのメナドは既に占領済みである)而かも北米の太平洋岸にはわが潜水艦が海底を遊弋してゐるのだ。折角出て來たレキシントンは太平洋の真中で姿を没した。永遠にその姿を海底に沈めた。

嗚呼、偉なる哉。雄なる哉。これこそ廣七千哩の新生大日本海である。

## 四、米英の長嘆息

### 老大國に黄昏迫る

一戦忽ちにして地に塗れ、海底に瀝屑と消えた米英の海陸軍は、戦線建て直しと稱して、單一編成をなし、前英印度軍司令官ウェーベルを陸軍總司令に任命し、米のハートが海軍を統べると云ふ。そして敗戦の責任者マックアーサーは病院船によつて辛うじて歸米し、前米東洋司令官キンメルはただちに被免

せられて査問會に審問されんと傳へられる。又この間まで東亞の探題として注目されてゐた英のダフ・クーパーは皇軍の爆撃に千死に一生を得てホウボウの態たらくで歸國した。これも何れは審問臺に立たされることであらう。

一方英米首相のチャーチルは一時行方不明を傳へられてゐたが、果然舊臘二十日よりワシントンにありて、半身不隨のルーズベルトとチャーチルとと喋り

つたのであるが、この頃瀧く歸英した。而かも彼が乗つた船は潜水艦である。老いたりと云へ大英國の首相ともあらうものが、廣い大西洋を潜水艦に隠れて歸らねばならぬとは。前にル・チ兩人が洋上會談を行つたプリンス・オブ・ウェルズはその巨體をクワンタン沖に休めて、既に深海の魚の棲家と満足してゐることであらう。

嗚呼、昨日まで横暴を極めた大國に黄昏が來た。この自己の運命の落日を望んで老大國の胸中や如何に。

### 部報掲載資料 懇募集

富貴 時局關係又は地方色あるもの(大きさは成るべくヤビネ判とす)

感話 各地に於ける感激實話又はニュース(二篇の長さは四百字詰原稿紙二枚以内とす)

漫畫 時局又は生活を取り入れたる興味的の漫畫(郵便はがき又は美濃半切大の畫用紙を用ふる事)

昭和十七年二月一日發行  
編輯者 臺灣總督府時局情報部  
發行人 加藤 豊吉  
編輯部 臺北京町一丁目三番地  
印刷所 小塚本店印刷工場  
臺灣總督府内  
臺灣時報發行所  
中區 臺灣時報部(電話二七〇番)

# 時局解説

比島亦僅に餘喘を保つてゐるに過ぎない。米國艦隊は一體、何をしてゐるのか。米國が世界に向つて傲語し來つた對日太平洋

人の情、壯途空しくして果てたレキシントンの爲に、一滴の涙を廣七千哩の太平洋の真中に落さうではないか。

一月十六日大本營の發表によれば、開戦以來一月十日までに、我が艦隊が撃沈拿捕した敵船艦は合計百九隻三十六萬二千噸に上つてゐる。これについては、我々は帝國又總計十一隻四萬六千八百噸の犠牲を擧げてゐる事を忘れてはならない。併し乍ら敵の喪失に比すれば極めて甚少であり、この程度の犠牲で、既にわ

れ等は新なる大日本海を生み出しつゝあるのである。東亞の大地圖を擴げてみよ。

北は千島、樺太より滿洲の國境に沿つて支那大陸に下り、佛印、泰、馬來、スマトラ、ボルネオ、セレベス、ニューギニア、爪哇、アリューシャン——この圓い線を辿つてみよ。

馬來の完全攻略によつて

印度洋も一睨みだ。濠洲も亦わが制壓を免れないであらう。蘭印の諸島は既に縮み上つてゐる。(蘭領ボルネオのサラカン、セレベスのメナドは既に占領済みである)而かも北米の太平洋岸にはわが潜水艦が海底を遊弋してゐるのだ。折角出て來たレキシントンは太平洋の真中で姿を没した。永遠にその姿を海底に沈めた。

嗚呼、偉なる哉。雄なる哉。これこそ廣七千哩の新生大日本海である。

振不熱食  
良不化消



ゼスターアチカ



—澱粉以外にも完全消化—

タカチアスターゼは一般局方ヂアスターゼとその組成を異にし、澱粉糖化力の著しく強大なるは勿論、麦芽蛋白質、ペプトン、脂肪、繊維素、其他塩類分解酵素等數種を含有し、食慾不振、消化不良、胃部膨滿その他胃腸機能低下より來る諸疾患に適應することを實證されてゐる。

(錠) 30錠 40 (末) 14瓦 .85  
(其他大量入) ● 地区を除く

三共株式会社 東京市日本橋區室町

日本香油  
防ゲ!  
スパイ  
守ル  
臺灣  
カモ美容ホマード

大 阪 石 津 号

富豊庫在  
LIN & DEN  
EXTRA FINE STEEL  
WARRANTED  
(双面)ンデンリ  
大 阪 田 原 街  
電話 二一五  
日の丸レコード製作所

PRINCE  
WAVE  
AUTOBLADE

心地よい  
感觸!  
素晴らし  
切味!

護援で料塗を材資員動

トニペ西關

海上・天奉・城京・京東・阪大



# 感冒

扁桃腺炎  
肺炎  
中耳炎

## テラポール錠

化膿菌・淋菌の  
みならず肺炎菌  
インフルエンザ  
菌をも撲滅する  
テラポールの生  
体内殺菌作用は  
既に昨冬・感冒  
肺炎・気管支加  
答兒・扁桃腺炎  
中耳炎・耳下腺  
炎等に廣く實驗  
せられて顯著な  
る治癒効率を示  
したり。

100錠



THE 第一製薬株式会社 東京日本橋区

昭和十三年九月二十日厚生省認可  
昭和十七年二月一日發行  
(毎月一回一日十五日發行) (第一三九號)